

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市小松島児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 25,587人(前年度比 97.0%) 令和4年度 26,380人 令和3年度 21,810人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 53,169千円 (47,124千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 また、令和5年度においては努力義務である安全計画を策定し、児童・利用者への安全教育や事故・災害時の対応の共有、事故防止のための体制の構築に努め、利用者の安全確保に繋げている。	31/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、保護者会をはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>『チームde子育て』を合言葉に保護者、学校、地域の皆さんと共に子ども支援、子育て支援に取り組んできました。普段の関りを大切に考え、乳幼児親子さんをお迎えしました。毎日のように遊びに来てくださる親子さんもおおり、お弁当を持ってきて長い時間過ごす姿も見られました。利用者のニーズを汲み取り、図書の貸し出しを開始しました。本に触れる機会と楽しさが増えたと好評です。民生委員児童委員さんと共催の「ホッとひといきママのおしゃべりティータイム」は、人形劇団の公演、親子ヨガ、保健師さんによる講座など多種多様な内容で行われました。</p> <p>4年ぶりに開催された「地域のコミュニティまつり」では、児童クラブの保護者会の皆さんにご協力をいただき、射的と輪投げコーナーを運営しました。延べ300人以上の子どもたちが遊びに来てくれました。来場した保護者の方も喜んでおられました。子育て支援クラブの活動では、「アフリカンダンス」、「馬頭琴コンサート」、「ウクレレコンサート」などの共催行事の他、花壇整備など様々な活動を通して地域住民との交流、異年齢間の交流が行われました。</p> <p>令和5年度は様々な活動を通して子どもたちの主体性が感じられた一年でした。「児童館まつり」では、事前の景品作り、当日は各コーナーの運営など、子どもたちの力が発揮された行事となりました。感謝祭では、どんな内容にするかを子どもたちが考え、すごろくコーナーやボウリングコーナーなどを行いました。地域の方に加え、小学校の校長先生にもご参加いただきました。一生懸命な子どもたちの様子を皆さん微笑ましく見守ってくださいました。また、長期休業日には上級生が「バレーボール大会」、「野球大会」などを企画し、異学年交流も見られました。子どもたちの意見を取り入れながら、サテライト室の構造化にも取り組み、より過ごしやすい環境づくりに努めました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、子どもの意見を反映した上で五感を活かした多彩な体験型の活動の場を提供している。子育て支援クラブの協力を得て、ウクレレや馬頭琴、アフリカンダンスに触れる等の表現活動をはじめ、制作活動や畑の活動を通じた多世代交流は、子ども達の好奇心を刺激し豊かな人間性を育てている。また、中高生世代に遊戯室の開放時間を設定した事で児童クラブ卒業生を中心に多くの中学生が来館し、小学生との日常的な交流や職員との継続的な関わりが見られている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブの他、わらべうたによる親子のふれあい遊びや読み聞かせ等、乳幼児に豊かな遊びや体験の場を提供している。またのびすく宮城野の看護師を招き、参加者同士が談笑しながら気軽に相談できる場の設定や子育てのニーズを把握して保健師や保育士の他にもリミックやベビーヨガ等の外部講師を招いて多様な取り組みを行っている。参加者の交流の場を提供し、地域の子育て家庭に対する相談・支援を行っている。</p> <p>地域交流推進事業においては、4年振りに開催された「地域のコミュニティまつり」で児童クラブの保護者の協力を得て遊びのコーナーを運営し、地域に向けて児童館の認知度向上に努めている。また、参加した保護者がおまつりをきっかけに児童館の行事に積極的に参加する姿が見られ、保護者の交流が広がっている。その他、年3回児童クラブ利用の児童が福沢市民センターに出向いてジュニアリーダーと遊びを通じた異年齢交流が図られている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、普段は本館と2か所のサテライトで学年別に過ごしている子ども達の要望により、長期休みにスポーツ大会を開催し、異学年交流が実現した満足感を得られた活動となった。また、子どもが落ち着いて食べられるようおやつ時間を2回設定したり、サテライトの図書や遊具の充実を図る等、子どもが生活の場として安心して過ごせる環境を整えている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課